



岩代小学校運動会 平成29年9月24日

## 〈9月定例会〉

- |                            |                           |
|----------------------------|---------------------------|
| ●平成28年度決算の概要 . . . . . P2  | ●常任委員会活動報告 . . . . . P16  |
| ●決算審査報告 . . . . . P3       | ●まちづくり政策調査特別委員会報告 . P18   |
| ●決算重点事業とここがポイント . . . P4   | ●研修等報告 . . . . . P20      |
| ●議案審議 Q&A . . . . . P6     | ●追跡調査 . . . . . P21       |
| ●一般質問 (8人が登壇) . . . . . P7 | ●ようこそみなべ町へ／お知らせ . . . P22 |

# 9月定例会

- 会期 9月6日から20日（5日間）
- 認定 8件 全て認定（平成28年度各会計決算等）
- 議案 12件 全て可決（平成29年度一般会計補正予算、工事契約等）
- 議員発議 1件 可決（全国森林環境税の創設に関する意見書について）
- 一般質問 8人 計11質問

## 決算審査特別委員会

本定例会において、竹本議長と監査委員の下村議員を除く12名の議員で決算審査特別委員会を設置し、委員長に谷本議員、副委員長に永井議員を互選により決定いたしました。

平成28年度一般会計、各特別会計、水道事業会計の歳入・歳出決算の審査を、9月12日～14日の3日間で担当課、副町長、会計管理者同席のもと実施しました。

## 平成28年度会計別決算

	歳入	歳出
一般会計	94億7327万円	86億4227万円
国民健康保険会計	25億3320万円	24億2603万円
後期高齢者医療会計	2億8032万円	2億7556万円
介護保険会計	15億8586万円	15億5501万円
農業集落排水会計	2億8824万円	2億8388万円
公共下水道会計	5億4457万円	5億3962万円
簡易水道会計	2億3614万円	2億2713万円

●各議員の議案採決結果（反対のあった議案のみ） ○：賛成 ×：反対 議長は採決には加わりません

議案	谷本	永井	天野	井口	丸山	池田	原田	出口	真造	下村	玉井	宮崎	北谷	竹本
	吉弘	幸喜	仁	雅裕	幸雄	三千留	覚	晴夫	賢二	勤	伸幸	繁幸	清治	栄次
平成29年度一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
全国森林環境税の創設に関する意見書	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—

●討論 討論とは、議案に対する「賛成」「反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意見に賛同させることを目的とする発言。

### 「平成29年度一般会計補正予算」

**反対討論** 丸山 幸雄 議員（P6 参照）

「防災施設整備事業費 土地借上料の50万円は、時期尚早だと考える。」

### 「全国森林環境税の創設に関する意見書について」

**反対討論** 池田 三千留 議員 （P17 参照）

「紀の国森づくり税はすでに課税されており、2重課税になるのではないかと。石油、石炭税の上乗せ措置で、地球温暖化対策の位置づけとすべきと考える。」

# 決算報告

## 決算審査特別委員会 委員長報告

委員長 谷本吉弘

決算の認定にあたり、現地調査を含めた3日間の厳正な審査を行いました。大きな問題などは見受けられなかったものの、より一層の行財政運営の適正化に努めるよう要望しました。

各委員からの意見や要望事項など、主な事項について下記に報告します。

### 税務課所管

梅価格の低迷や人口減少による収入の減少等により、町税の減少傾向が続いている中で、収納率においては、昨年度に引き続き前年度比率を上回っています。公正公平な税負担の原則からも、和歌山地方税回収機構などの活用も含め、現年度、過年度の滞納分の徴収に努力していただきたい。

### 総務課所管

財政健全化運営により、実質公債費比率は12.9%と昨年度より0.5%減少しています。今後もより一層、良好な財政健全化運営に向けて、取り組んでいただきたい。また、防災備品等の購入については、必要であれば予算を流用してでも揃えるべきではないかとの意見がありました。

### 健康長寿課所管

毎年行われているミニドッグ健診は、受診する町民が固定化され、なかなか増えていかないのが現状です。健康の町みなべ町をアピールするため、病気の早期発見のためにも受診率が上がるように努力していただきたい。

### うめ課所管

現在、我が町では、梅の価格低迷や消費の減少が大きな問題となっています。

うめ課が行う梅の需要や消費拡大は、公費を投入していることから、町民が広くその恩恵を受けることができる効果的な政策を実施していただきたい。

また、地方創生加速化交付金や世界農業遺産推進事業費で行われた膨大な取り組みが今後も続けられるのか、不安視する意見や、これらの多くの取り組みのデータや経験を次の世代に残すことが大事ではないかとの意見などが出されました。

### 住民福祉課所管

町立保育園の臨時職員の多さが指摘されました。賃金体制は改善されましたが、正職員との差、同一労働同一賃金までは追いついていません。士気の低下につながるよう処遇改善をお願いします。

### 産業課所管

29年度で終了する、野菜花卉産地総合支援事業は、農家維持発展には欠かせない事業であるため継続を求め意見が出されました。

また、有害鳥獣捕獲後の適正な確認や、カシナガキクイ虫の防除対策を引き続きお願いします。

鶴の湯温泉に薪ボイラーが設置されましたが、もっと大きくアピールすることをお願いします。

### 生活環境課所管

ゴミの焼却については、30年度からは田辺市に依頼することになりました。分別等の違いがあるため、今後もゴミの分別の徹底について、町民に啓発活動をして頂きたい。

農業集落排水の公共下水道への接続が進められています。未加入の問題については、地域間格差が依然として大きく、事業の目的や制度の根幹に関わることであり、さらなる加入率の向上につながるよう努めていただきたい。

### 教育学習課所管

千里ヶ丘球場をはじめ、町内体育施設の利用状況がHPで確認できるようになりました。関係各課と緊密な連携をとり、教育旅行やスポーツ合宿での団体利用促進、町内宿泊施設の集客に生かしていただきたい。

9月14日に決算審査に関わる主要な現地（森林組合・薪割り機、東神野川線、高城診療所、鶴の湯温泉・薪ボイラー、上南部中空調設備、国民宿舎屋上改修、南部小キーボックス、小目津公園、防犯カメラ等）を1日かけて調査しました。

# 重点事業と注目ポイント

## 教育

- 3 中学校舎空調設備設置工事前払金 6873 万円
- 南小プール設備等改修工事 …… 1998 万円
- 学童保育事業 …… 2709 万円



空調設備（上南部中学校 ガス方式）



- 中学校 3 校の空調工事は29年8月に工事を完了し、2 学期から快適な環境で勉強することができますようになりました。また小学校については現在設計中です。

## 総務

- コミュニティバス等運行事業 …… 952 万円
- 防犯カメラ設置事業 …… 237 万円
- 交通安全施設設置工事（カーブミラー等） …… 324 万円



防犯カメラ（東吉田交差点）



- 防犯カメラは、町内 4 か所（はあと館、南部公民館、南道交差点、東吉田交差点）に設置されています。
- コミュニティバスは、9 人乗り車両 2 台によるデマンド方式で運行しています。

## 保健・福祉

- 高城診療所屋根改修等工事請負費 1706 万円
- 子ども医療費 …… 5169 万円
- 長寿祝事業 …… 607 万円



高城診療所



- 子ども医療費は、子供の保険診察の自己負担を助成するもの、高校卒業時まで医療費が無料になります。
- 長寿祝事業は84歳以上の高齢者の方々に祝い品を贈呈しています。（84歳以上989人、95歳以上78人、新100歳7人）

## 防災

- 防災備品等購入費 …… 189 万円
- 津波避難施設整備事業 …… 9900 万円
- 住宅耐震改修補助金 …… 241 万円



震度感知自動開錠式鍵収納ボックス（南部小学校）



- 防災備品等購入費は震度感知自動開錠式鍵収納ボックス 3 基の購入費が主で、南部小、ウメタ、JAアグリに設置されました。
- 津波避難センターは地元待望の施設、11月末に完成予定です。

# 平成28年度 決算

## 建設・土木

- 土砂災害ハザードマップ作成（東本庄）300万円
- 町道名の内線道路改良工事 …… 3696万円
- 町道東神野川線改良工事 …… 6702万円



町道改良（東神野川線）

### 👉ここがポイント

- 土砂災害ハザードマップは、皆さんが住んでいる地区で、土砂災害が発生した場合に危害を受ける恐れのある範囲を示したものです。事前にお住まいの地区や近隣地区の危険箇所を知り、避難場所、避難経路などを確認するための参考にしてください。

## 農林水産

- 備長炭保全と森林資源を活用した地域活性化事業 …… 1883万円
- 海岸堤防等老朽化対策事業 …… 1241万円



ユニック車（みなべ川森林組合）

### 👉ここがポイント

- 備長炭～森林資源～事業は、地方創生加速化交付金（100%国費）によるフォークリフト、薪割り機、ユニック車、車両重量機等の購入代金です。
- 海岸堤防等老朽化対策事業は、埴田から千鹿浦までの堤防の長寿命化計画を策定する委託料です。

## 観光・商工

- 鶴の湯温泉露天風呂給湯設備改修 2741万円
- 国民宿舎工事 …… 3206万円
- 外国語版観光パンフレット作成 ……142万円



薪ボイラー（鶴の湯温泉）

### 👉ここがポイント

- 鶴の湯温泉露天風呂給湯設備改修は、薪ボイラー2基の設置費用。県のグリーンニューディール基金対象事業で、補助額は1993万円です。
- 国民宿舎工事は、本館屋上の防水工事です。別館の屋上の防水工事も29年度に完了しています。

## 生活・環境

- 一般廃棄物収集運搬委託料 …… 8190万円
- 事業系一般廃棄物運搬委託料 …… 185万円
- 田辺市周辺衛生施設組合負担金 …… 4397万円



すさみ町ゴミ焼却場

### 👉ここがポイント

- ゴミの焼却は29年度までは、すさみ町で処理して頂いていますが、30年度からは田辺市に委託することになります。分別のルールが変わります、なお一層の分別の徹底をお願いします。

# 主な議案審議Q&A

## ●津波避難センター 管理条例



工事中の津波避難タワー（11月末に完成予定）

**Q** 緊急時の使用が基本だが、平常時の管理、運営、使用状況のイメージはあるのか。

**A** 防災目的ではあるが、地元行事、防災関連の展示等に活用を考えている。

また管理についてスロープから2階、3階はフリーだが、集会所的などは施錠、室内には防犯カメラを設置。

## ●新設坂ヶ谷道路整備

**Q** 今後の工事予定は。また土地取得の進み具合や予算は。

**A** ネクスコ西日本4車線化の話の中において準備中。ただ国の認可がまだ取れていないので時期については明言を避けたい。十分協議のうえ地元で説明したい。

トンネル出口から高城小学校や市井川への交差点までの距離が半分になり、幅員が広くなった分、車のスピードが上がり危険と思われるが、対応策を考えているのか。

**A** 安全対策としてブリラー、路面表示などで注意喚起を考えている。現地状況を十分に見ながら対応策を検討していきたい。

## ●町道高野沼川線改良 工事（仮称 高城トンネル）

**Q** 新しくトンネルができた場合、

## 一般会計補正予算

### ●新設 子育て世代 包括支援センター

**Q** 平成30年より母子包括支援センターの新設と聞いたが説明がほしい。

**A** 子育て世代包括支援センターという事で一応決まっている、名称はまだ決まっていない。妊娠から出産、子育て期の相談窓口。

**Q** 相談窓口という形であるなら、包括支援センターという名称はやめてもらいたい。名前において、ユーザー側からの立場を思い、訪れやすく相談窓口として成果が上がるようなネーミングをお願いする。

**A** 健康長寿課で検討中、分かり易い形で考えていきたい。

### ●鶴の湯温泉汲上用 井戸長寿命化工事

**Q** 鶴の湯温泉のくみ上げにおいてパイプの直径を175から125mmに下げても水量は賄えるのか。

**A** 現在のくみあげ量と比較しても

十分に賄えると考えられる。またこの工事は井戸の長寿命化対策においても必要。

### ●児童福祉総務費 時間外手当

**Q** 40万円が計上されているが、新たな業務のためか、理由は。

**A** 認定こども園に向けての高台移転等に様々な業務が予想され、今後半年間は

このくらいの時間外労働が予想されるために計上。

**Q** 時間外が心配されるのは、人手不足なのか。現状人員で賄えると考えていいのか。

**A** 保育所以外の業務も増え、現状は厳しいが、29年度は現体制。次年度は見直しの必要も。

### ●防災施設整備事業 土地借上料

**Q** 全体としての構図がみえてこない。借地料の50万円（半年分）は必要なのか。岩砕等を取り置きするのであれば、近くにも町管理の置き場があるのでは。

**A** 借地は現場に入するための工

事用道路であり必要。またトラック等の回転場や広く余った土地は、残土や資材、もしくは埋め戻しのための仮置きに使用したい。



議会承認後に造成を開始した借地現地



窓

# 8 議員が一般質問

## 宮崎 繁幸 議員 .....

- ① 空き家対策の利用状況

## 出口 晴夫 議員 .....

- ① 梅農家の人手不足解消に向けた支援策の検討を
- ② 青梅のトップセールスに掛ける思いとは?今年の作況は?

## 北谷 清治 議員 .....

- ① 携帯電話難聴地域の解消を

## 井口 雅裕 議員 .....

- ① 学童の通学の安全について

## 原田 覚 議員 .....

- ① 中学校運動部活動（社会体育）について

## 玉井 伸幸 議員 .....

- ① 津波対応訓練の方針や内容について
- ② 国民健康保険の制度改正による影響や課題について

## 谷本 吉弘 議員 .....

- ① より安全な避難道路の早期完成を

## 池田 三千留 議員 .....

- ① 学校図書の充実について
- ② 学校の非構造部材の耐震について

QRコードで各議員の一般質問の動画を簡単にご覧いただけます。スマートフォンに「QRコード読み取りアプリ」をインストールして頂く必要があります。

一般質問とは、本議会において議員が行政全般にわたり、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、あるいは報告、説明を求めたりすることをいいます。

町政に  
ここが聞きたい!



みやぎ しげ ゆき  
宮崎 繁 幸 議員



## 防災 空き家対策の利用状況

### ➔ 点数計算の形、粗悪なコンクリートブロックの撤去や位置確認



倒壊の恐れがある空き家

**質問** 現在の空き家対策の利用状況、又申請後の点数計算の形と土地の所有者と借主が違い撤去できない等の問題対策に行政としての対応策を聞きたい。又避難道路に面し老朽化したコンクリートブロック塀等の撤去や補修についても問題提起後これといった回答もなく、他の市町村の対応策を参考にみなべ町独自の補助や解決策をお願いしたい。近い将来に起こるかもしれない

い東南海地震や災害において、避難道路確保のために前向きな回答を聞きたい。

**町長** 補助率は3分の2、補助金の上限は60万円、本年は5件分の300万円計上。申し込みは6件で1件は該当しない。

撤去完了を含め現在作業中。又土地所有者と建物所有者の違う場合についても申請は可能、撤去においては同意が必要。測定基準や認定は屋根、壁等の状況など適切な管理や景觀を損なう物に点数をつけ100点以上の物に決定される。

**再質問** 倒壊の恐れのある空き家やブロック塀等について避難道路確保の為に行政としてどの程度残っているのか位置確認も含め必要があるのではないかと

ネットニュースの中に南海トラフ、東南海地震において確度の高い予知が難しく新たな対策を見直す必要がある等、一方では前兆現象を観測した場合の事前避難を促す新たな対策を示したとありましたが、みなべ町としてもこれに対応した案をまとめてもらいたい。

こういった話においても早急な避難道路確保という事につながるのではないかと。空き家対策や粗悪なコンクリート

ブロック塀においても行政が率先してやらなければ助かる命も落としてしまうという事態が生じる可能性も考



老朽化したコンクリートブロック塀

えられる。そういった意味からも、自主防災も含め行政、町民と三位一体となつて取り組んでもらいたい。

又先頃において熊本視察の際に被害を受けた御船町の副町長に被災時の状況や又、地震においてのアドバイス

そう言ったアドバイスを受け、地震や津波、考えられる災害を想定し町長の言われる0被害、0災害にする為に

も避難道路確保において、空き家問題や老朽化したコンクリートブロック問題について今以上の政策を町民の為に考えてもらいたい。

**町長** 避難道路沿いにある危険箇所においての把握はそれぞれの区長さんや自主防災会において細かく確認したい。南海トラフ地震の新たな防災対策は、政府の中央防災会議作業部会で地震予知、又事前予知においても確立

の低い予知が難しいと思われ事前予知を前提とした防災対策の見直しを検討。和歌山県においても知事が率先して各市町村に事前復興計画を作るよう勧めている。老朽化したコンクリートブロック塀についてもみなべ町の実情に合った対策を検討していきたい。





でぐちはるお  
**出口晴夫** 議員



**農業**

**梅農家の人出不足解消に向けた支援策の検討を!**

**➔ まずは、農家へのアンケート調査を実施!**

**町長** 梅農家の人出不足については、今後さらに深刻になり大きな問題になると思っている。そこで一つの解決方法として他の地域の多品目の農家との労働

が、町長のお考えはどうか。  
交換など検討の余地があるが、宿泊・食事の問題などを解決しないといけない。まずは、町内の農家へのアンケート調査を行い現状の把握に取り組んでいきたい。そのほか、地域おこし協力が取り組んだ都会の大学生等に来てもらうなど様々な方策を検討したい。(アンケート調査は、みなべ町とJA紀州の共同で11月頃に実施されます)

質問 農家の高齢化や後継者不足が労働不足に拍車をかけている中で、農家は雇用者の確保に苦労している。梅を基幹産業と位置付けるみなべ町としては、見過ごせない問題。まずは、梅農家への労働力アンケート調査の実施などで現状を把握し、県やJA、他産地・大学などとの連携による人材情報の共有や紹介窓口設置、インターシップ制度の創設・活用など労働力確保に向けた新たな支援策を模索すべきだと思いが、町長のお考えはどうか。



農家の人出不足解消は喫緊の課題

**農業** 青梅のトップセールスに掛ける思いとは？今年の作況は？  
**機能性のPRで消費拡大 作況は平年の75%**

**町長** トップセールスは、昭和57年から開始し今回で36回となる。

質問 町長の毎年の梅のトップセールスに掛ける思いとは。また話し合われた内容について、差し障りのない範囲で教えて頂きたい。また、梅の作況が最大の話題となったと思うが、協議会の調査では「やや少ない」との表現が使っていたが、地域によってはその表現に違和感を感じた生産者も多くいた。従来の調査方法の再検討や補完的に各農家へのアンケート調査を付加するなど、さらに精度を上げるための工夫が必要ではないか。また、今年の作況指数について町としては、どの程度と捉えているのか。

また、今年の梅の作況指数については、推計ですが町内で収穫された梅は約2万3000トンで、過去10年平

均に対して75%、うちJAに出荷されたのは約1400トンで前年の73%だった。梅干しについては、業者の塩の取扱量から見ると紀南地方で約200万タールが生産されたと見られる。行政としては、消費拡大に向けてPRに汗を流し、機能性など梅を広く知ってもらう事に今後も力を入れていきたい。



作況は75% 着果調査の更なる精度向上を

きただにせいじ  
北谷清治 議員



**生活** 携帯電話 難聴地域の解消を



➔ 補助制度の要望をしていきたい



携帯電話の中継アンテナ

**質問** 携帯電話が利用されるようになってから20年以上になろうかと思えます。その間、町内全域どこでも利用できるように各所に中継アンテナが立てられました。ところが、山間地では電波の届きが悪く、限られた場所ですしか通じない地区や、全くアンテナ表示が出ない所もあります。災害発生時など緊急時には大変困る状況ですが町として通信会社に対し改善を強く求めています。

**町長** 不感地区は清川の洞地区と名の内地区2ヶ所です。町としても携帯電話会社に対し調査や改善の働きかけや、解消のための補助制度についても、県や近畿総合通信局への協力をお願いしているところです。

**再質問** 実際皆さんがLINEやツイッターを使うのかどうか疑問ですし、現在電波が届いていない地域にはUターンの方もおられ、その不便さを感じておられるだろうと思います。町として考えられる対策はないのか、お尋ねします。

**町長** 以前には、町からお願いをして、アンテナの柱を立ててもらったこともありましたが、最近では、維持管理の面で採算に合わないとのことで、進出がむずかしくなっています。が、企業さんに対しての要望は、ひきつづき続けます。

**町長** 以前のようには、町でアンテナを立てて維持管理を通信会社にお願いをするといいことは、かなわなくなつたので町としては、町村会や、いろんな場を通じて県や国に対し、補助制度の要望をしていきたい。そのように考えております。



Wi-Fi 無線ルーターの設置例



いぐちまさひろ  
**井口 雅裕** 議員



## 通学 学童の通学の安全について

### ➔ 道路標示等対策計画中

**質問** 学童の通学の安全についてお伺いいたします。

運転者の中にはスクールゾーンというものの存在やその果たす意味合いを知らない人が結構いることに驚いています。私の家内に聞くと「それ 何よ」との返事でした。本当に驚いています。

この前、災害復旧支援のボランティアで日田市に行ってきた。その時に路側帯をカラーで舗装し運転者に注意喚起を促しているところがありました。道幅を狭く感じさせ、走行するのにストレスを与えてスピードを出しにくくしていました。

田辺市の湊本通りも路側帯に色んな変化を加えて走りやすくしています。また、旧上富田南部線の会津小学校の前には外側線の外にグリーンのラインを引

いてスクールゾーンを明示しています。「ここを走るのは気をつけなあかん」と感じます。

みなべでもスクールゾーンを明確に表示して、その果たす意味を運転者に周知させてもらうわけにはいかないでしょうか。広報や南部幹部交番で発行している「鹿島」に掲載してもらおうというのでは。そういうことはできないでしょうか。

**教育長** 建設課が担当しておりませけれども、町内何ヶ所かにおいて既に、スクールゾーンを意味する線を引く計画になっています。

町道片町線（岩崎齒科医院から南部小学校前の鳥居）では緑の枠に白で通学路という標示。町道谷口常楽線（通称長道）に於いては路側帯のほうにグリーン

ベルトのような形で標示。町道新殿開線（バリューハウスの横）では、片側の歩道の部分をグリーンに塗装して、歩道として認識するよう標示（10月11日現在工事中）

子供たちの安全については交通指導・見守り隊等のボランティアのソフト面での対策も含め、こうした形での緩やかなハード面の対策等を講じていきたい。

**再質問** 運転者に対する啓蒙についても答弁をお願いします

南部中学校の前の町道参詣線（小学校前の鳥居・玄関前）、岩代地区についても町道登田線また、高城小学校、清川小学校等の通学路の安全についてチェックをお願いします。

議会の総務文教委員会で各小学校の通学路の点検等を行っているこ

うとじていますので、よろしく願います。

**教育長** まず、運転者、また自動車を運転する方々の啓発も大事だよという事でございます。どういう形で啓発をしていくかという事はまた検討していきたいと思えますが、町の広報誌等に登下校安全について、「道路にこういう風にグリーンベルトを塗装したよ。」という事で、これはこういうためだという事をしっかり伝えたいと思っています。

町内での色々な危険個所につきましては我々も調査をしています。今、通学路を点検する交通安全対策のプログラムを作っています。今後ともこのプログラムについては、順次見直していいものに仕上げて安全な登下校を支援していきたいと

思っています。こうした我々の調査以外にもいろんな情報がありましたらいたただいて、今後とも安全な登下校の支援のために努力をしていきたいと思っております。



完成したグリーンベルト（バリューハウス横）



着工予定の通称「長道」

はら だ さとる  
原田 覚 議員



## 教育 中学校運動部活動 (社会体育)について

➔ 情報を収集し各学校に指導していきたい



**質問** 町内の中学生の数は年々減少し、学校では部活の数も少なく、部活の選択は限られま  
す。やりたい部活が無い。以前あったが無くな  
ってしまっただけという状況です。

本町では、小学生から入れるスポーツ団体が数多くあります。陸上、サッカー、野球、バレーボール、剣道、少林寺拳法、空手、よさこい、クライミングなど。本町のHPに紹介されています。

しかし中学校に入ると、その部活が無く断念する、もしくは学校部活と学校以外のスポーツ活動(社会体育)の両立を続ける生徒がいます。両立し続けることは大変な苦勞になります。

学校では社会体育を、学校部活と同じように評価していますか。また近隣の自治体では、学校内に社会体育部を設け、社会体育を学校部活として認める中学校が出てきています。本町も導入しては。

**町長** 生徒たちの活躍による全国大会や世界大会の出場時には、表敬訪問に来てくださり、町としても応援しています。町の体育協会と文化協会から、スポーツ賞、文化賞等の表彰をして活躍に対し評価をしています。

**教育長** まず、部活動は学校教育の一環として教育課程との関連を持っていきます。生徒同士が協力し友情を深める人間関係の形成に資するものであります。一方、持久性を持ち

長期的に運営する体制も必要です。そのためには地域の協力や地域のスポーツクラブ、社会教育関係等の各種団体の連携も含み、部活動の工夫を求められています。社会体育部を中学校に創設し、受け皿をつくる時期が来ていると認識している。

ただ、学校現場としては行事日程や、他の部活動の具体的な調整など検討すべき課題があります。

近隣の学校で取組んでいるとのことで、部活動の指導力の向上も含め、情報を収集するよう各学校に指導していきたい。

また、学校の評価については、各学校で生徒の活動実績を総合的に判断し、指導要録等へ記載をしています。高校への調査書等にも記載し評価をしています。

**再質問** 今後、先生の負担や、多種多様な競技志向の専門指導を考えると、社会体育を認めていくことが良いと考えます。また、本町に本格的クライミング施設があります。社会体育を学校部活と認め、地元選手の育成につなげていただきたい。

**教育長** 多種多様な運動部の部活は、いつまでも学校教育の中では無理があるのではないかと考えます。スポーツ庁において、運動部活の在り方に関するガイドラインの作成が検討されています。部活

と学校教育との関係を見定めていきたい。クライミング施設は、子どもたちの利用が多く賑わっています。学校にないクラブ活動を支援し、素晴らしい能力を開花させるためにも情報収集し応援していきたい。



清川地区にあるボルダリング施設



たま い のぶ ゆき  
**玉井 伸幸** 議員



## 防災 津波対応訓練の方針や内容について

➔ できれば職員訓練を11月5日にしたい

**質問** 町長は、3月議会で津波対応の職員訓練を約束されましたが、それはどんな内容で、町一斉訓練の11月5日に実施する予定でしょうか。一方、今回は南

部小・中学校の2校が地域と一緒に訓練します。両校生徒職員、地域もあわせて800名ほどの人々が参加します。

**職員訓練**、学校地域一体訓練、それぞれどのような目的意識のもと、どのようにとりくむのか、内容、規模、緊急事態の想定等、具体的にお願いします。

行いたい。町民の一斉訓練では地域での協力体制、自分のすべきことを理解するといったことが、今回の目的となるのかと考えます。

**教育長** 訓練では、生徒は多少混乱に直面するかと思われ、そこでどう行動するか、また避難困難者への支援など、自ら体験するいい機会だ。訓練後、結果を検証し子どもの気づきを取り上げ、今後に活かしたい。

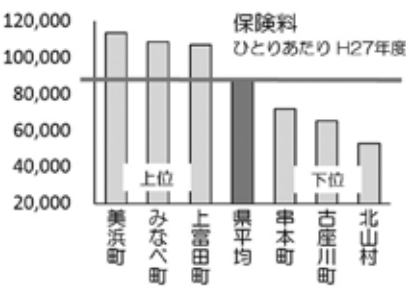
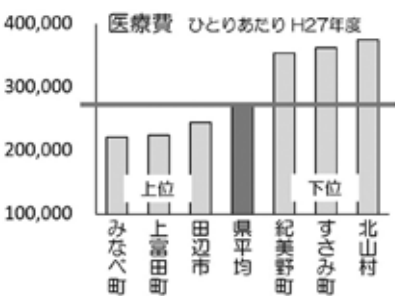
**再質問** 800名の方々にしては、昨年の子どもたちの訓練から案外そのボリュームは大きくありません。小中学校、地域の三者の棲み分けを予め指示していただければ、なお、医王寺への道は、早急に改善すべきであり、町にあつてはこの道があくまで「仮の道」と

の認識で臨みたいと思います。

**町長** 三者の配置については関係者と相談し、事前に決めたい。また、

**質問** 来年度から、国民健康保険の運営が市町村から都道府県に移行しますが、町長は3月に「保険税率が2倍から3倍になる」という試算も」と答弁されました。町民の間では、この保険料が心配されています。制度改正がみなべ町にどんな影響を与えるのでしょうか。また、保険料以外にも、町独自の運営により積み上がった1億5千万円の基金がどうなるか等、様々な課題がある中、県の動向、方

### 保健 国民健康保険の制度改正による影響や課題について



たにもとよしひろ  
谷本吉弘 議員



**防災** より安全な避難道路の早期完成を

➔ 予算がなくてもやらなければならないものはやる



町道寺峰線

**質問** 数年前に避難路を選定するに当たり、短時間に多くの人が押し寄せることが想定されることから、町道寺峰線を避難路としました。

ただ、その当時からJRの線路の下をくぐって行くことから、十分な道幅がないことなどの指摘がありました。大雨が降れば大きな石が転がり落ち、谷側に至っては、土砂の流失により道の下が空洞になっています。

この避難路は、埴田、片町、新町の住民が、平日であれば、幼稚園・小学生・中学生が避難してくる場所です。崖崩れ、道の崩落があればたどり着けません。避難路は被災してからでは遅いのです。今は、準避難困難地域と言わざるを得ません。実施計画に入っている新しい避難場所と、新設案のある避難道路のビジョンを示して頂きたい。

**町長** JRの線路をくぐる所は、避難に支障があると認識しています。

現状の避難ルートでは対策に限界があることから、新たな避難路として道路整備を検討することが望ましいと考えています。

東吉田の防災整備事業が終わってからの検討しています。

この避難路は、埴田、片町、新町の住民が、平日であれば、幼稚園・小学生・中学生が避難してくる場所です。崖崩れ、道の崩落があればたどり着けません。避難路は被災してからでは遅いのです。今は、準避難困難地域と言わざるを得ません。実施計画に入っている新しい避難場所と、新設案のある避難道路のビジョンを示して頂きたい。

現段階では避難場所の確保を目的に、当初予算に医王寺地区内の用地の購入費を計上しています。避難路の整備については、町道整備の事業か、防災関係の補助事業か、国の補助金で実施するのかが検討しています。

防災拠点を結ぶ構想も、この計画に盛り込めればと考えています。

予算がつけば、すぐ工事にかかれる準備はしておきたいと考えています。

**再質問** いまの答弁では、補助金が多ければ新年度予算には上げないよと聞こえたのですが。元々けもの道であった所を農家の方が手作業で広げて行って、農道になり、交付税の関係から町道になった所です。水路もなく、雨が降れば水は下に流れ、もつと降れば谷の方に流れて道の下がえぐられる。その繰り返しで、今まで過ぎてきました。

早ければ新年度予算で計画設計の予算化を考えています。

全体のビジョンですが、県では大規模災害後の事前復興計画を進めています。医王寺と



避難路に通じるJR下のトンネル

助金がつく、つかないではなく、単独でもと考えています。

工事に関しては、どういう事業を持つてくるか、予算がなくてもやらなければならないものはやって行く事業の一つだと考えています。いろいろ手法を考えながら、資金繰りを考えながら、まずは概略設計をしてからになります。実施計画になって、住民の命を守るためには単独でやるかということも含めて、財政面については執行部にお任せいただいて、皆様方には、事業の着手工にご協力いただければと考えています。



いけだ みちる  
池田三千留 議員



## 教育 学校図書の実情について

### ➔ 学校の図書環境の充実は、今後とも必要

**質問** 教育問題として学校図書の実情についてお聞きします。

① 学校図書館図書標準到達はみなべ町内の小、中学校ではどのようになっていますか。また、蔵書状況は。

② 発送に応じた新聞複数紙の配備の実情と取り組みは。

③ 現在の学校司書の配置と、配置による学校図書や子どもたちの変化は。

**教育長** ① 図書館図書は中学校の1校を除いて各校、標準数に到達しています。また、必要な図書の買い替えや

古い図書の整理を進めてこれからの環境を充実していきたいと思っています。

② 小学校の図書館には、こども新聞や、学校司書による新聞と触れ合う環境づくりがされています。また、小学校高学年や中学校全クラスにご厚意で1社からの新聞配送があります。

③ 27年度に上南部小学校を拠点に1名、28年度に南部小学校を拠点に1名。勤務実態は、週4、5日と1日の違いですが2校で司書活動をしてくれています。



司書が配置されていない中学校図書室

倍3倍と増えたこと、図書の整理、児童の図書への意識が高まっているし、図書館が明るくなり子どもたちが休憩時にも集まってくる習慣ができています。変化が起きている。中学校には、まだ学

校司書の配置ができていません。

**再質問** 平成27年6月に選挙権年齢の18歳以上へ引き下げに伴い、中学校には複数の新聞を配備すべきでは。

また、小学校の流れを中学校に繋げていくように学校司書を中学校に配置すべきでは。

**教育長** 小、中学校でのそうした複数の新聞を読み比べると、これは、大事だと思っています。徐々にそうした新聞の配備についても充実させたいと思います。また、小学校で学び、力をつけて中学校へ進む。本に親しむことが習慣となりその受け皿となる中学校の図書環境の充実は今後とも必要だろう。

中学校の学校司書の配置も前向きに進めたいと思います。

### 教育 学校の非構造部材の耐震について ↓ 学校の安全性を高めて傾注しよう

**質問** 学校の非構造部材の耐震はもうできていますか。

**教育長** 多額の予算をかけ構造体そのものの耐震化は100%完了しています。非構造部材(天井・照明器具・設備機器・窓ガラス・家具など)についても平成26、27年と屋内運動場の非構造部材の耐震化を進めて100%完了しています。日常的な非構造部材の点検を実施していきたい。

**町長** 延命化を図っていきたくて毎年、各小中学校をまわっております。今年の夏、現場を見てこのままではいけないと実感しており早急に対処したいと考えております。

**教育長** 今ある古い校舎で子供たちが安全に学校生活を送れるような学校の安全性を高め、傾注していきたいと思っています。

**再質問** 上南部中学校3階、音楽室の床の揺れに対して早急に対処する必要性を感じます。また、古い校舎こそもっと安全性に目を向けていくべきでは。



上南部中学校 音楽室

# 総務文教常任委員会 活動報告

7月20日に東日本大震災の復興のために福島県新地町へ出向され、3月末をもって帰ってこられました産業課の大木正規さんのお話をお聞きました。

おかえりなさい 大木さん  
福島県・新地町での2年半の出向を終えて



産業課 大木正規さん

・地形がなだらかな丘陵地で、所々に小高い丘が点在する地形であったことなどがあげられます。

大木さんが赴任された時は、宅地の造成がほぼ終わり、そこに通じる幹線道路の整備を主におこなったそうです。

町道大戸浜富倉線は、

大木さんは、5年前に新地町に出向されていた越本さんと交代する形で、2年半の間、福島県新地町復興推進課で活動されてきました。新地町は人口約8千人で、面積はみなべ町の1/3程度でコンパクトな町です。

震災から6年半が過ぎましたが、被災地の中では最も復興が進んでいる町です。

その要因としては  
・市町村合併をしていなかったこと  
・コンパクトな町であったこと

60世帯中、津波で467世帯、地震で7世帯が全壊しました。

その後、地の利を生かし、復興住宅の建設もコミュニティを重視し、地区ごとの集団移転ができたことがスピードアップにつながったとのことでした。

ワークシヨップをかさね区画設計を行った結果、7団地157区画がほぼ契約済みで、町営住宅も129戸建てられています。



造成が完了した大戸浜団地



立体交差になった「大富希望の橋」

震災時に遮断機が下りたまま、避難の妨げになったことから、踏み切りをなくして立体交差に。

雁小屋南線は、集団移転先と病院を結ぶ道路として新たに作られました。

震災当時は復興計画に協力的であった人達も、時間の経過や整備事業の進展とともに「どうしてあの人達だけが優遇されるのか？」などの感情の行き違いが生まれて来たそうです。

平成25年に新地町と災害時の相互応援に関する協定を結んでいます。27年度からは毎年若手の職員を数名程度、新地町を中心に研修を行なっています。

これからみなべ町でも、津波災害復興計画の事前策定作業に取り

組まなければなりません。仮設住宅はどこに？被災者の移転先は？など多くの課題があるなか、大木さん、越本さんをはじめ、研修を受けた職員の皆さんが知恵を出しあってくれることを期待しています。

私たち議員も職員とともに安全安心な町づくりを努力いたします。



復興推進課の皆さんに見送られて



# 産業建設常任委員会 活動報告

## 7月25日に5月定例会で3議員が一般質問しました、みなべ新橋からの道路延長、旧西本庄橋の対策、西本庄五味地区の国道424号の道路状況と、嶋之瀬ダムの土砂堆積状況を視察



みなべ新橋（山内）からの延長計画については県に事業申請中で、国への申請は平成30年度採択を目指し進めている。

高城の道路工事が先にある、要望通りにいかないことも考えられ、まず500mを直線に延長していく計画だそうです。用地の買収については事業認定を受け測量設計をしてから、地権者と相談していくとのこと。

旧西本庄橋は、ひと目ですぐわかるように、老朽化が激しくなり平成23年から通行止めとなっています。大洪水

時の二次災害等の危険も考慮し、老朽化対策として撤去事業を平成30年度採択希望として県に要望するとの説明でした。

西本庄地区の国道の五味のカーブは、大変急で危険であるのは一目瞭然です。すぐ近くの四郎橋も幅員が狭く危険である。どちらも県に要望しているが、整備の優先順位は低いといわれている。しかし違う考え方で新たに要望をしたいとのことでした。

嶋之瀬ダムについては、清川地区の豪雨災害で崩れ落ちた土砂が流れ出し、ダム上流は土砂が堆積している状況でした。南紀用水の職員より、10年後を目途にダムの上流側の半分近くの土砂を取り除くように計画を立てていきたいと報告してくれました。

### 議員発議 賛成多数で採択（P2 参照）

## 「全国森林環境税」の創設に関する意見書（要約）

地球温暖化対策については、2020年度及び2020年以降の温室効果ガス削減目標が国際的に約束されているが、そのためには森林吸収源対策の推進が不可欠である。森林が多く所在する山村地域の市町村は、森林吸収源対策及び担い手の育成等山村対策に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。

政府・与党は「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設に向けて、地方公共団体の意見も踏まえながら、具体的な仕組み等について総合的に検討し、平成30年度税制改正において結論を得る」との方針を示したところである。

森林吸収源対策の推進や安定した雇用の場の確保などの取組みは、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生等にもつながるものであり、財源の強化は喫緊の課題である。

よって、下記の制度創設について実現を強く求めるものである。

記

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年 9月20日

和歌山県日高郡

みなべ町議会議長 竹本 栄次

（提出先）

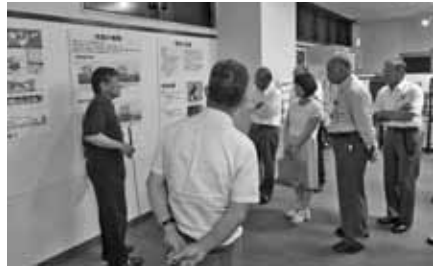
内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・農林水産大臣・環境大臣・経済産業大臣・衆議院議長・参議院議長

# まちづくり政策調査特別委員会 視察研修報告

7月29日～8月2日

熊本県御船町(震災&復興状況)、宮崎県高千穂町(世界農業遺産)を視察

**熊本地震関連視察(震災&復興状況)  
熊本広域防災センター、熊本城、御船町**



熊本広域防災センターでの研修

今回の研修は、日本の鉄道マンの能力を結集して脱線復旧作業が行われた九州新幹線を利用しての行程でした。  
**熊本広域防災センター**ではジオラマで説明を受けました。南阿蘇村の長陽大橋が復旧開通になること、北野地区の上水道が復旧されたこと、益城町の学校の避難所の運営の例(校長が総理になり各大臣を設けて運営した)など、センターの情報収集能力には感心

させられました。

地震体感装置での体験 煙発生装置での避難訓練や液状化の起こり方を学ぼうの冊子や実験のペットボトルが非常に分かりやすかったです。

翌日、大きく被災し、一部しか解放されていない**熊本城**を見学しました。

**水前寺公園**では池の水が干上がったことや神水が近所の人の命水になったという事を教えてもらいました。

**御船町での研修**では震災の状況と復興について学びました。事前に通告していた質問に対し素晴らしい回答をいただきものすごく分かりやすかったです。

御船町からの熊本地震対応を踏まえた南海トラフ地震に備えるた

めの「〇〇町へのアドバイス」このような準備をしておくとい

と、情報提供、避難所、被災者支援、被害認定調査 通常業務のカテゴリリーについてQ&A方式で準備してくれていたのにも感心しました。

質疑応答の中では、防災行政無線がなかったため、人命救助、救出等については地域の方々に頼るほかなかった事、きちんとした連絡方法がなく連携が図れなかったことを反省しているとの事です。

江戸時代から続く農業用水の九十九トンネルの復旧、上野地区の農地災害復旧に力を入れているが、圃場の区画整備は、相続や登記の問題で進められず、離農者が3分の1に及ぶとの事です。蒲島郁夫知事の掲げる「創造的復興」では復興格

差がより大きくなっていくように思われます。

被災経験のある御船町議会が7月に発生した九州北部豪雨災害へ見舞いに行かれたという事を聞くと、さすが「恩返し」が普及しているのだなど感じました。

役場での研修に併せ、震災の爪痕である阿蘇大橋の落橋、国道の幅200m長さ700mに及ぶ崩落現場、カルデラ内には存在しないといわれる断層の陥没状況等も視察したかったのですが：時間が限られており心残りです。

NHKのきらり紀州人で、紀州梅の郷救助隊の隊長へのインタビューで「被災地で学んだこと、活かしたい教訓は」という問いに被災地の人に聞くと



御船町役場での研修

「まさか」と口にします。熊本広域防災センター、御船町役場でも、「まさか熊本で地震が」「まさか本震が後から起こるとは」といつていました。  
想定外の出来事に対応するために個々のまさかのレベルを上げておくべきと答えています。

## 世界農業遺産関連視察 「高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム」

8月2日に本町と同じく2015年12月に認定された宮崎県高千穂郷・椎葉山地域を訪問しました。

高千穂町役場において、興梠副町長、財政課総合政策室の甲斐室長、田崎主事、佐藤議長、佐藤事務局長に出迎えていただき、田崎主事から農業遺産の活用などについて説明を受け、意見交換をいた

しました。高千穂・椎葉山地域は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、諸塚村、椎葉村の3町2村から構成され、険しい山々に囲まれた山間地です。総面積1410kmの約93%が森林で、耕地は約3%と農業には厳しい条件ながら、棚田や特徴的な農業が営まれています。

### 高千穂・椎葉山の山間地農林業複合システム

○伝統的農業文化 五穀豊穡を願う「神楽」、農作業に歌われてきた「刈干切唄」「ひえつき節」
○焼畑農業 伐採と火入れを小規模にとどめ、作物栽培後に森林に戻す、循環的なサイクル
○木材生産とモザイク林の形成 生産のための針葉樹林、シイタケ栽培の落葉広葉樹、天然の常緑広葉樹
○500kmの山腹用水路と1800haの棚田 急傾斜の山肌を縫うように作られ、斜面を流れる雨を受け止めるとともに山腹崩を防ぐ役割。日本の棚田百選のうち7か所存在。
○多様な伝統的農業 段々畑での茶栽培、釜炒り茶、肉用牛生産

○世界農業遺産に認定された大きな要因は？  
一番大きな要因は

「地域コミュニティの結束力」とのこと。

夜通し舞う神楽を女性も食事を作って支えるなど、伝統文化を支える地域コミュニティがしっかりと継承されています。それが地域の力として、先人たちの努力の賜物である総延長500kmの用水路を維持できていると説明してくれました。

○運営については？

全ての取り組みを県と5町村で企画し、推進しているそうです。必要に応じてコンサルタントに委託（宮崎大学、総合地球環境学研究所など）

情報発信の中で、公式HPは協議会事務局が管理し、重要情報を掲載。タイムリーな発信は公式FB

にて5町村担当が各々発信しています。

○認定を契機に

交流人口（観光客）の増加を目指し、農業体験のメニューの顕在化・整備・開発、民泊推進、語り部の養成に注力していくとのこと。

○農家の意識は？

認定後は視察や交流人口が増えたとの実感があがり、商品化への積極性が出てきているとのこと。

農業を止めようと思っていた方が、来町者の多さや反響の大きさに、これまで自分たちがやってきたことの価値に自信を持ち、もう少し続けようということになったそうです。



景観地（棚田）にある看板

○後継者問題の取組みは？

担い手の育成、人口流出の歯止め、Uターン政策を考えている。小、中、高と大学が連携し、地域教育プログラムを策定し実施。明確にターゲットを若年層に絞った取り組みを行っている。

・小学生にも分かるマ

ンガ冊子、ショート

ムービーの作成

・宮崎大学と高千穂高

校との連携協定

大学生と高校生間の交流。地域に自信と誇りを持てる人財育成、地域の価値を学術的に明らかに。

・世界農業遺産教育プ

ログラム

高千穂高校生が、現地学習を含め5回の講義を実施。

・GIAHSアカデミー

地域の魅力と課題を生徒自身が発見、発信。

これらの取組により、



棚田（高千穂町 栃又）

地域に必要とされる経験を基に、生徒が自己と地域の将来像を描く。「思考力・判断力・表現力」等の21世紀型能力を育成し、生徒の進路実現に貢献する。高千穂郷・椎葉山地域における世界農業遺産の認知向上を目指しています。

今回の視察で、「私たちは、これまで先人が培ってきた、変えてはいけないモノをあたりにまねに遺産として未来につないでいく責任がある」ということを改めて確認することができました。

## 県新人議員研修

7月20日、和歌山市で「地方議会の役割と権限」と題しての新議員の研修会に参加しました。

全国町村議会議長会議事調査部・皆川貴史氏を講師に迎えての講演があり、新しく議員になった時に最初に手渡される「議会の位置付け、住民と議会の関係、議会の役割、規則e t c .」の知識を修得する目安になる「議員必携」という辞書的書物を作成されている皆川氏の講演は興味深いものでした。

「議員と首長はともに住民の選挙によって選出される」その責任を再確認し、研修した



ことをさらにこれからの活動に生かしていきたいと思えます。

## 県町村議会 全議員研修



8月4日、かつらぎ

町で、「トランプ大統領の誕生後に激変する世界と中国と北朝鮮」と題しての、ジャーナリストで拓殖大学教授の富坂聰氏による県町村議会全議員研修がありました。

マスコミ報道に出ない隠れた各国々の思惑、又シリアの軍事力の説

明等の話、日本のマスコミのあり方、我が国を取り巻く問題や北朝鮮において、米、中、露の思惑が入り乱れ混乱を招いている。日本の報道にも他国とのずれがあり、一部分だけが先行している。私達議会と行政においても、力を合わせて住民の事を一番に考えなければと、幅広い問題などを説明され有意義な研修会となりました。

## 全国町村議会 広報研修

9月29、30日、東京の砂防会館で全国町村議会の広報研修があり、広報特別委員6名で参加しました。

広報については一番大事なことは、誰でもわかるように、又その内容について興味を持ってもらえるように解りやすく簡潔に掲載する。

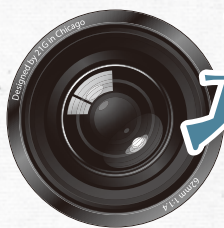
議会広報コンクルの優秀作品において、注目すべき点や注意点を例題に上げながら解りやすく説明をされ、町民主役のページや議会だよりがより身近になるよう工夫、表紙についても写真をシリーズ化、その時々話題をクローズアップする等、様々なアドバイスを頂きました。

今号では研修で学んだQRコードを一般質問ページに採用し、各議員の動画に簡単にアクセスできるようにしました。



## 事務組合議会議員活動報告

- 御坊日高老人福祉施設事務組合議会 定例会
  - ・日時 平成29年7月10日
  - ・場所 御坊日高老人福祉施設事務組合
  - ・出席 谷本議員
- 田辺市周辺衛生施設組合議会 定例会
  - ・日時 平成29年7月21日
  - ・場所 田辺市 清浄館
  - ・出席 原田議員、下村議員、天野議員
- 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会 定例会
  - ・日時 平成29年7月26日
  - ・場所 ダイワロイネットホテル和歌山
  - ・出席 竹本議長
- 公立紀南病院組合事業会 定例会
  - ・日時 平成29年7月27日
  - ・場所 紀南病院
  - ・出席 竹本議長、北谷副議長
- 田辺周辺広域市町村圏組合議会 定例会
  - ・日時 平成29年8月8日
  - ・場所 田辺市役所
  - ・出席 竹本議長、北谷副議長
- 紀南環境広域施設組合議会 定例会
  - ・日時 平成29年8月9日
  - ・場所 田辺市ごみ処理場
  - ・出席 竹本議長、北谷副議長
- 日高広域消防事務組合議会 定例会
  - ・日時 平成29年8月30日
  - ・場所 日高広域消防本部
  - ・出席 真造議員
- 御坊日高老人福祉施設事務組合議会 定例会
  - ・日時 平成29年8月30日
  - ・場所 御坊日高老人福祉施設事務組合
  - ・出席 谷本議員



# 追跡調査 議員の質問とその後の行方

あなとき、議員が一般質問した内容や各委員会が提言した内容が、町施策にどのような内容で反映したかを確認するための調査です。

## 平成27年3月定例会 一般質問

農業・農家に対する支援策について、情報を一元管理する専門職を役場に設けては

町長答弁

融資制度の違いで窓口が分かれている。ワンストップ窓口を設けることが良策かと思う。

どうなった

## 産業課

支援策は町HPに掲載しており、窓口は町、JAなどで、町には専門職は設けていませんが、各制度に担当職員を配置していますのでご相談ください。

## 平成25年3月定例会 一般質問

谷口・常楽線(長道)の安全な通学路整備を

町長答弁

この道の改良、歩道整備は合併前からの課題。避難路を兼ねた歩道整備になるかと思う。

どうなった

## 教育学習課

歩道整備については、地区的な問題もあり、実現していませんが、本年度、当面の対策としてグリーンベルト(緑色で路面を着色)を路側帯に設置します。

# ☆お☆知☆ら☆せ☆

## キリンのCMに登場!!

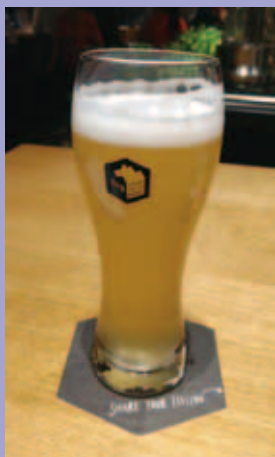
清川の2組のご夫婦が「キリン一番搾りのCM」に登場されたのをご存知でしょうか?

これは高城・清川地区で結成された「完熟梅部会」が数年前よりキリンと完熟梅の取引をしている縁で出演になったそうです。

市販されている「完熟梅酒 まっかいシリーズ」の原料にこの梅が100%使用されているとのこと。



またこの完熟梅のクラフトビール「完熟梅スパーキング」を東京代官山にあるキリン直営店「SVB (スプリングバレーブルワリー)」で飲むことができます。



●議会や議会だよりへの意見や感想を募集しています。どんなことでもかまいません、議会事務局または提案箱までお寄せください。

みなべ町議会だより No.49  
平成29年11月1日発行  
発行 みなべ町議会  
編集 議会広報特別委員会  
〒645-0002  
和歌山県日高郡みなべ町芝742  
TEL 0739-72-1334  
FAX 0739-72-1335

# ようこそみなべ町へ

他市町出身のご主人、奥様、ご夫婦の紹介コーナーです



なかむら ゆうすけ みか  
中村 裕亮さん & 美香さんご夫妻

平成22年1月15日に結婚されました中村裕亮さん(北道出身)と美香さん(鹿児島県沖永良部島 旧姓:林)ご夫婦の紹介です。

### Q 二人はどんなきっかけで知り合いましたか?

→お友達の紹介です。

(以下の質問へは町外出身の方にお答え頂きました)

### Q みなべ町に暮らしてみて感じたことや持たれたイメージは?

→子育て支援が充実していて、子育てをするうえで心強いなと思います。梅や季節の果物などがおいしくて、毎年、時期が来るのが楽しみです。

### Q 町での生活はどうか?

(楽しいエピソードもあったらお聞かせください。)

→近所を歩いていると、地域の方がたくさん声をかけてくれるので、とても嬉しい気持ちになります。

### Q 町に望むことはありますか?

→小さい子供たちが遊べる公園が増えるといいなと思います。

◎ご協力ありがとうございました。

## 編集後記

津波避難センターも完成間近になり、又、小山田防災広場の関連工事も着工し、防災対策が進んでいます。

ひとりの犠牲者もださないよう防災教育や防災訓練など、行政と町民が一体となって取り組んでいます。

より一層の防災意識を高め安心安全で住みやすい町づくりに貢献できるように議員一同活動していきます。

広報特別委員会

永井 幸喜